

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大村市立大村中学校（長崎県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

授業構想シートを活用した授業づくり

- ・ 構想シートは、探究的な学びの流れを基本に、生徒がどのように学ぶかを記述できるようにした
- ・ めあてとまとめが対応しているかなどが確認できるように構造的に示した
- ・ 生徒が到達するゴールの姿をより具体的に示すために、ルーブリックを作成し生徒と教師が共有するようにした
- ・ 学びの過程での教師の手だてを吹き出しで記述することで、ICTの活用場面等を示した
- ・ 教科部会等で、授業構想シートを活用して授業検討等を行った

成果

- ・ 授業構想シートを活用することで、授業づくりをフレームワーク化でき、共通の視点をもって授業検討を進めることができた
- ・ 学びの過程に「めあてへのアプローチ」を位置付けたり、ルーブリックを生徒と共有したりすることで、生徒が目指すゴールをとらえ主体的に学ぶことができた
- ・ 授業構想シートを用いて授業づくりを行うことで、教師の授業デザイン観の転換を進めることができた

授業構想シート -大村中2023版-		授業者		
1年2組 英語科	題材 PROGRAM 9 A Trip to Finland	令和6年2月9日(金)		
単元計画	<p>〇ALTの旅行計画の参考にもうするために、過去の旅行体験について書く活動で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに着目し、情報や表現を整理・吟味することを通して、事実や自分の考え、気持ちなどを表現できるようにする。</p> <p>〇ALTがどのような旅行をしたいか、また、情報サイト等からは得られない、生徒が旅行で体験した気持ちを知りたいと話す。</p> <p>〇ALTに向けて、過去の旅行体験を紹介するスライドを一人一台端末で作成させる。</p> <p>〇アーヴィン先生の旅行計画の参考になるように、スライドに、過去の旅行体験について書くことができる。</p> <p>Q 過去の旅行体験について、「すてき」と思ってもらうには、どうしたらよいか？</p> <p>〇ALTの要望や条件を踏まえと、どのような内容がふさわしいかを考える。</p> <p>〇過去の旅行体験を表現するために、時制に注意して書くことを確認する。</p>	<p>ねらい</p> <p>めあてへのアプローチ</p> <p>めあて</p> <p>見通し</p>	<p>振り返り</p> <p>まとめ</p> <p>解決活動</p>	
時 1	<p>・ALTの動画を視聴し、単元ゴールを知る。</p> <p>・一般動詞の過去形の用法を理解する。</p>	<p>〇ALTの旅行計画の参考になるように、スライドに、過去の旅行体験について書くことができたか、ルーブリックを基に自己評価を行う(Googleフォーム)。</p> <p>〇単元末に生徒はスライドをClassroom上に提出する。</p> <p>〇後日、ALTは参考にしたいチラシとその理由を発表し、フィードバックを行う。</p>	<p>〇過去の旅行体験から、相手の要望や条件に応じた内容を選ぶ。</p> <p>〇旅行体験は過去形を使って表現する。一般動詞の規則動詞はedを付けた形、不規則動詞は適切な形に変えて、正しく書く。</p>	
時 2-3	<p>・一般動詞の過去形を用いて、過去のことについて表現する。</p>	<p>・Googleスライドで作成する。テンプレートは教師が準備しておく。</p>	<p>・ALTの要望や条件を板書する。</p> <p>・各生徒が事前に書いた英文は他者参照可能にする。</p>	
時 4-6	<p>・フィンランドについての対話文を読んで、概要や要点を捉える。</p>	<p>〇アーヴィン先生の旅行計画の参考になるように、スライドに、過去の旅行体験について書くことができる。</p>	<p>〇事前にノートに書きためた英文や教科書の本文、級友が書いた英文を参考に、目的や場面、状況など意識して、一人一台端末でスライドを作成する。</p> <p>〇学習形態は個人を基本とするが、希望する生徒はペアやグループで学習を進める。</p>	
時 7-8 (本時)	<p>・ALTに向けて、過去の旅行体験について書く。</p>	<p>Q 過去の旅行体験について、「すてき」と思ってもらうには、どうしたらよいか？</p> <p>〇ALTの要望や条件を踏まえと、どのような内容がふさわしいかを考える。</p> <p>〇過去の旅行体験を表現するために、時制に注意して書くことを確認する。</p>	<p>〇ALTの要望や条件を板書する。</p> <p>・各生徒が事前に書いた英文は他者参照可能にする。</p>	
後日	ペーパーテスト			
ルーブリック	S	A	B	C
〇アーヴィン先生の旅行計画の参考になるように、スライドに、過去の旅行体験について書くことができる。	〇目的や場面、状況などを意識して、過去の旅行体験について、「すてき」と思ってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちを6文以上(35語以上)の英文で書くことができる。	〇目的や場面、状況などを意識して、過去の旅行体験について、事実や自分の考え、気持ちを4~5文の英文で書くことができる。	〇過去の旅行体験について、2~3文の英文で書くことができる。	〇過去の旅行体験について、1文の英文で書くことができる。

今後の改善点

- ・ 見方・考え方を働かせた見通しのもとせ方を実践を通して具体化していく
- ・ 探究の過程を重視し「思考力・判断力・表現力」を育てるためには、単元を構想する必要があることから、単元構想シートを開発する
- ・ 学びの過程において、生徒のICT活用の具体を蓄積し、それらを基に生徒自身が選択し活用できるようにする
- ・ 「授業構想シートの手引き」を改訂し、学校サイト等で公開する